

## 四谷大塚 (7/18 実施) 合不合判定予備テスト

**全国最多 15,730 名が受験**

**「前年同月比 407 名増加・102.7%」**

### 2011 年入試に向かったの最新志望者動向

中学受験の四谷大塚(本社:東京都中野区)は、7月18日(日)、国立・私立中学校を志望する小学校6年生を対象に『(第2回)合不合判定予備テスト』(志望校判定を行う全国レベルの公開テスト)を実施。受験者数は、中学入試の7月実施模擬試験としては全国最多となる15,730名が受験しました。

受験生たちは本番さながらの緊張感の中、これまでの学習成果を発揮すべく真剣にテストに取り組んでいました。また、同日開催の父母説明会には多くの参加をいただき、中学受験に対する関心の高さがうかがえました。今回は①2011年入試の展望、②夏休み必勝法、というテーマでお話を差し上げましたが、熱心に耳を傾けられていました。

夏休みが直前に迫る時期での開催となったため、特に「憧れの第一志望校が夏の原動力になること」、「この夏に学習の習慣化をすること」、「意欲的に学習に取り組ませるために」、「スケジュール管理の重要性」など学習効果を最大限引き出すために必要なことを訴求しております。

#### ■背景にある社会情勢

世界経済が混乱を深める中、中国やインドは経済成長を続けています。こんな時代に彼らが伸び続けている理由は「人」にあるのではないのでしょうか。両国とも人財の育成に力を注ぎ、国内の産業を強化しながら、世界の中核に優れた人財を送り込むまでの発展を遂げています。

日本が国際社会の中で存在感を示していくためには、未来のリーダーを育てるしくみを作り上げるべきだと考えます。日本には物理的資源がありません。しかし、「人」という資源の可能性は無限です。大きな可能性を秘めた生徒たちを、才能を伸ばせる最良の環境で育むことが、この国の未来につながるのではないのでしょうか。

ここ数年の高い中学受験率の背景には、我が子の将来を見据えたとき、一人ひとりに合った成長できる環境で多感な中高六年間を過ごさせたいという、ご家庭の意志が反映していると分析します。

先行きが不透明な経済情勢の中で実施された、今春の首都圏における中学受験の実受験者は、四谷大塚の推定で54,000名、実受験者は17.8%といずれも過去最高を記録した昨年を維持しています。

## 2011 年入試に向かって

### ① 志望者を最も集めた中学校は、男子：立教新座 女子：浦和明の星女子

今回の第 2 回合不合判定予備テストは、実際の入試に準じた形で 1 日程に対して 1 エントリーの原則に基づき、受験生には志望校をエントリーしていただいております。この原則に沿って志望校エントリーをいただくことで、受験生が実際の入試でどんな併願パターンを考えているのか、最新の受験者動向を把握することができ、より正確な志望校判定が可能となります。

志望校として最も多くの受験生を集めた中学校は、男子では立教新座(1月25日)が887名、女子では浦和明の星女子(1月14日)が751名となっています。

何れも埼玉県の中学校で、東京都・神奈川県の入試解禁日(2月1日)以前の1月に入試が実施されます。2番目に志望者を集めた学校を見ると、男子で芝2回(2月4日)の846名、女子で頌栄女子学院2回(2月5日)の566名が続いています。

志望者数の最上位には試験が集中する2/1~3よりも、1月や2/4以降に実施される試験が毎回入ります。志望者数全体は第一志望の他に併願者を含みます。よって比較的試験の集中しない有力校にエントリーが集中する傾向があるためです。

実際の入試においても1月試験は合格者に対して入学者が少ない傾向(2/1を第一志望とし、合格した場合入学は見送る)がみられ、後半日程の試験は出願者数に対して実受験者数が減る傾向(2/1を第一志望とし、合格した場合受験を見送る)が特徴となっています。

《表 1:男子志望者数ベスト 10(試験回)》

	学校名	教科	入学試験日	今回テストでの志望者	昨年7月の志望者	増減	増減率
1	立教新座	4	1月25日	887	919	▲ 32	96.5%
2	芝2	4	2月4日	846	933	▲ 87	90.7%
3	市川	4	1月20日	713	792	▲ 79	90.0%
4	開成	4	2月1日	683	614	69	111.2%
5	浅野	4	2月3日	627	697	▲ 70	90.0%
6	渋谷教育幕張	4	1月22日	576	598	▲ 22	96.3%
7	東邦大東邦(前)	4	1月21日	513	486	27	105.6%
8	本郷	4	2月2日	511	503	8	101.6%
9	早稲田2	4	2月3日	485	504	▲ 19	96.2%
10	麻布	4	2月1日	471	442	29	106.6%

《表 2:女子志望者数ベスト 10(試験回)》

	学校名	教科	入学試験日	今回テストでの志望者	昨年7月の志望者	増減	増減率
1	浦和明の星女子	4	1月14日	751	743	8	101.1%
2	頌栄女子学院2	4	2月5日	566	580	▲ 14	97.6%
3	豊島岡女子学園	4	2月2日	560	551	9	101.6%
4	女子学院	4	2月1日	448	471	▲ 23	95.1%
5	市川	4	1月20日	441	442	▲ 1	99.8%
6	青山学院	4	2月2日	395	451	▲ 56	87.6%
7	桜蔭	4	2月1日	340	292	48	116.4%
8	淑徳与野	4	1月13日	330	339	▲ 9	97.3%
8	共立女子C	4	2月4日	330	376	▲ 46	87.8%
10	洗足学園3	4	2月5日	327	394	▲ 67	83.0%

## ② 第一志望者を最も集めた中学校は、男子：開成、女子：女子学院

第一志望校は受験生にとって「憧れ」の志望校で、学習に取り組むモチベーションを高める存在です。ランキング形式で見たときに、回を重ねても上位の顔ぶれが大きく変わらないことも第一志望校の特徴です。

《表 3:男子第一志望者数ベスト 10 (試験回)》

	学校名	教科	入学 試験日	今回テストでの 第一志望者	昨年7月の 第一志望者	増減	増減率
1	開成	4	2月1日	346	342	4	101.2%
2	早稲田	4	2月1日	337	444	▲ 107	75.9%
3	早稲田大学高等学院中学部	4	2月1日	269	151	118	178.1%
4	武蔵	4	2月1日	258	272	▲ 14	94.9%
5	麻布	4	2月1日	254	240	14	105.8%
6	早稲田実業	4	2月1日	253	266	▲ 13	95.1%
7	芝	4	2月1日	233	203	30	114.8%
8	慶應普通部	4	2月1日	214	236	▲ 22	90.7%
9	海城	4	2月1日	201	170	31	118.2%
10	駒場東邦	4	2月1日	192	226	▲ 34	85.0%

《表 4:女子第一志望者数ベスト 10 (試験回)》

	学校名	教科	入学 試験日	今回テストでの 第一志望者	昨年7月の 第一志望者	増減	増減率
1	女子学院	4	2月1日	346	360	▲ 14	96.1%
2	桜蔭	4	2月1日	207	205	2	101.0%
3	豊島岡女子学園	4	2月2日	185	213	▲ 28	86.9%
4	吉祥女子	4	2月1日	178	150	28	118.7%
5	雙葉	4	2月1日	177	161	16	109.9%
6	立教女学院	4	2月1日	163	185	▲ 22	88.1%
7	青山学院	4	2月2日	154	169	▲ 15	91.1%
8	香蘭女学校	2・4	2月1日	151	166	▲ 15	91.0%
9	洗足学園	2・4	2月1日	129	122	7	105.7%
10	早稲田実業	4	2月1日	121	145	▲ 24	83.4%

※香蘭女学校・洗足学園の入試教科は、2教科または4教科選択です。

### 参考データ 1:

2010年首都圏(小学校6年生)児童数303,493名の17.8%にあたる54,000人が中学受験に臨みました。  
中学受験率・中学受験者数いずれも過去最高を記録した2009年入試から横這いという状況です。

全国的には少子化の流れですが、東京を中心に、都心回帰による人口流入が続いています。今後も首都圏では(小学校6年生)児童数が300,000名を超える状況が続きます。

### 参考データ 2:

2010年	四谷大塚		日能研		首都圏模試		合計	
実施月	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比
4月	14,114	103.7%	12,005	100.3%	10,105	96.9%	36,224	100.6%
7月	15,730	102.7%	12,942	97.9%	12,535	96.2%	41,207	99.1%

2009年	四谷大塚		日能研		首都圏模試		合計	
実施月	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比	受験者数	前年比
4月	13,607	97.0%	11,968	93.6%	10,431	93.8%	36,006	94.9%
7月	15,323	99.0%	13,213	93.9%	13,026	91.8%	41,562	95.0%
9月	20,140	99.8%	14,378	96.4%	15,006	93.2%	49,524	96.8%
10月	20,155	96.6%	12,811	83.1%	15,057	90.4%	48,023	90.7%
11月	21,925	100.4%	14,183	91.9%	16,400	92.0%	52,508	95.3%
12月	20,560	97.4%	14,160	92.6%	15,826	90.3%	50,546	93.7%
合計	111,710	98.4%	80,713	91.8%	85,746	91.8%	278,169	94.4%

### ■四谷大塚合不合判定テスト 今後の日程

- 第1回: 9月19日(日)
- 第2回: 10月17日(日)
- 第3回: 11月14日(日)
- 第4回: 12月12日(日)

7月18日(日)実施合不合判定予備テスト(第2回)の  
80偏差値及び50偏差値は、下記をご参照ください。  
偏差値一覧以外にも、合不合判定テスト、父母説明会(詳細)のほか、  
中学受験動向等資料は、ホームページからご覧になれます。

[四谷大塚 公式ホームページ](#) [四谷大塚ドットコム](#)

※下記をクリックするとファイルが開きます

**[男子]合不合判定予備テスト(第2回) [80偏差値](#) / [50偏差値](#)**

**[女子]合不合判定予備テスト(第2回) [80偏差値](#) / [50偏差値](#)**

## ■株式会社ナガセについて■

1976年創立。大学受験向け予備校の東進ハイスクール(首都圏を中心に86の直営校)や、全国47都道府県に800校舎を配す東進衛星予備校(フランチャイズ契約)を展開。質の高い授業と独自の学習システムによって、東大現役合格463名(2010年実績)など高い合格実績を実現し、現在では約10万人の現役高校生が通う、日本最大規模の予備校となっています。2006年10月から四谷大塚(中学受験)、2008年2月よりイトマンスイミングスクールをグループ化するほか、大学生・社会人を対象に東進ビジネススクールを開講。

また、2010年10月より「セサミストリート」の教材を使用した幼児・児童向け英語教室「東進こども英語塾」の開設を予定しており、「社会に貢献する人財を育てる」を教育目標とした幼小中高大一貫教育サービスを展開しています。

## ■四谷大塚について■

1954年創立。首都圏を中心に、多数の合格者を有名中学に送り出している学習塾。中学受験最強の教科書“予習シリーズ”、全国最大となる2万人を超える受験生が競う“合不合判定テスト”、首都圏の直営19校舎(2009年7月に大宮校舎・11月に豊洲校舎が開校)での質の高い“レベル別指導”、そして豊富な“教育情報”を提供しています。

また、首都圏で定評のあった「四谷大塚」のノウハウを活かして、日本全国の有力塾や東進衛星予備校の加盟校との新ネットワーク「四谷大塚NET」のサービスを、2008年2月から開始しています。

---

### <本件に関するマスコミの方のお問い合わせ先>

株式会社ナガセ 広報部:市村、加藤

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-29-2

電話 0422-44-9001 FAX0422-44-9129

ホームページ [www.yotsuyaotsuka.com](http://www.yotsuyaotsuka.com) E-mail [pub@toshin.ac.jp](mailto:pub@toshin.ac.jp)